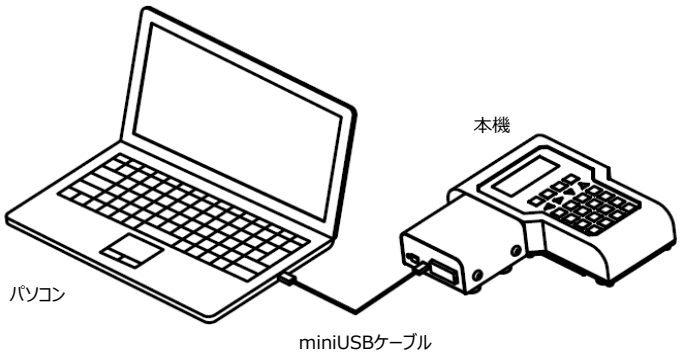
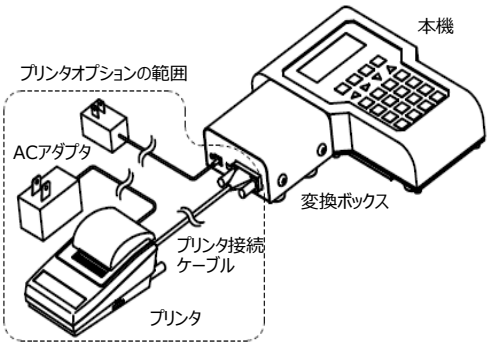
本質安全防爆ロガー(型番：YL-100Ex) クイックマニュアル

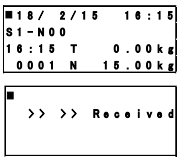
パソコン接続



プリンタ接続(オプション)



計量データの受信(ﾘｱﾙﾀｲﾑ送信)



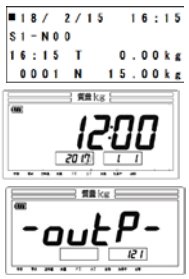
①本機を電源オンにしてはかりの横に取り付けて、右の画面に状態にしてください。

②はかりに品物を載せてください。安定サインが点灯したら [M+] を押すと開始します。(手動加算の場合)

③送信が完了すると、はかりの画面に"Send"と表示します。

④計量データが受信できると、本機の画面に"Received"と表示した後、受信したデータを表示します。

計量データの受信(バッチ送信)



①本機の [⏻] を押して電源オンします。
はかりの横に取り付けてください。

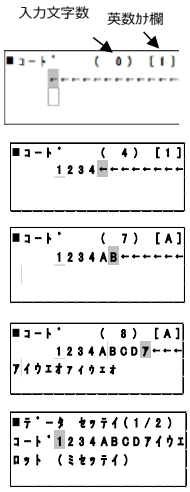
②はかりの内部メモリに記憶している計量データを本機に送信させる場合は、計量状態で、[⏻] を押しながら [-T-] を押して、時計設定の画面にします。

③時計設定の画面で、[-0-]を押しながら [-T-]を押すと、データ出力画面になり、右下に蓄積データの件数を表示します。

④はかりの [M+] を押すと送信を開始します。送信完了後は、自動的に計量状態に戻ります。

※はかりのパラメータ#14が1の設定でバッチ送信になります。

コード(ロット)の設定



①ホーム画面で、[ｺｰﾄﾞ ◀] ([ﾛｯﾄ ▶])を押すと、データ設定のコードを入力する画面になります。

②入力画面で、[英数/ｶﾅ]を押すと、英数ｶﾅ欄が[1](数字)→[A](英文字) →[ｱ](カナ文字)の順に切り替わります。
コード：1234ABCDアイウエ"を入力します。

③" 1 2 3 4 "の入力は、[英数/ｶﾅ] を押し、英数ｶﾅ欄を[1]にして、[1 ;][2 ""][3 ''][4 =] とキーを押します。

[C] を押すと、1文字削除します。

④'A'の入力は、[英数/ｶﾅ] を押し、英数ｶﾅ欄を[A]にして、[2 ""] を押します。 [ENT] を押すと'A'の文字入力が完了します。

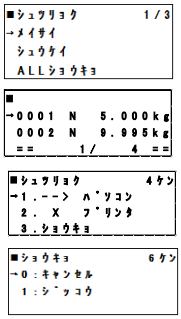
⑤'B'の入力は、[2 ""] を2回押します。
[ENT] を押すと'B'の文字が入力し、同様に、'C'、'D'を入力します。

⑥'ｱ'の入力は、[英数/ｶﾅ] を押し英数ｶﾅ欄を「ｱ」にして、[ENT]を押します。 [1 ;] を押すと'ｱ'の文字が入力し、同様に'ｲ'、'ｳ'、'ｴ'を入力します。

⑦ [ENT] を押すと文字入力画面が完了します。

※コード及びロットは、はかりがリアルタイム送信時のみ記憶しますので、バッチ送信では使用できまん。

パソコンに明細データを出力



①ホーム画面で、[OUT] を押すとデータ出力画面になります。
計量毎のデータを出力するときは、"ﾒｲｻｲ"を選び、[ENT] を押します。

②全明細データを出力する場合は、"ALL"を示している状態で、[ENT] を押します。

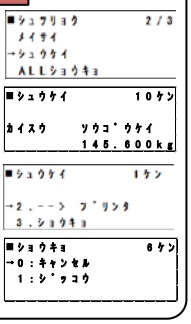
③全てのデータを出力する場合は、[OUT] を押します。

④パソコンに出力する場合は、パソコンの受信ソフトを起動した後で、"パソコン"を示している状態で、[ENT] を押します。

⑤出力してもデータは消去されませんので、カーソルが"ショウキョ"を示している状態で、[ENT] を押したあとで、"ジッコイウ"の表示で、[ENT] を押して消去してください。

※パソコンでデータを受信をするためには、YL100データ受信のソフトを及びUSBドライバソフトをインストールしておく必要があります。

プリンタに集計データを印字



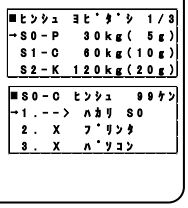
①ホーム画面で、[OUT] を押すとデータ出力画面になります。
集計のデータを出力するときは、"ｼｭｳｹｲ"を選び、[ENT]を押します。

②全集計データを出力する場合は、"ALL"を示している状態で、[ENT] を押します。

③プリンタに出力する場合は、"プリンタ"を示している状態で、[ENT] を押します。

④データを出力してもデータは消去されませんので、カーソルが"ショキョ"を示している状態で、[ENT] を押したあとで、"ジッコイウ"の表示で、[ENT] を押して消去してください。

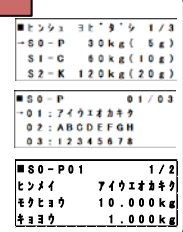
品種呼出（全品種）



①ホーム画面で、[⇨] を押すと品種呼出画面になります。
品種呼出を行うはかりを選択して、[OUT] を押します。

②選択したはかりの全品種データを出力する機器を選択します。
全品種データは、はかり、プリンタ、パソコンのいずれかに出力できます。
はかりに全品種データを送る場合は、本機をはかりの横に取り付け、[OUT] を押すと送信を開始します。

品種呼出（１品種）

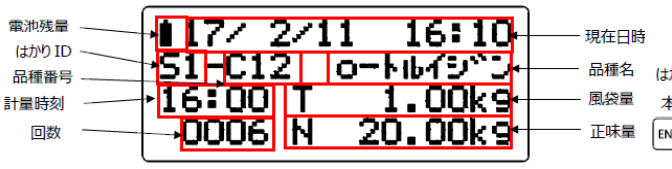


①ホーム画面で、[⇨] を押すと品種呼出画面になります。
品種呼出を行うはかりを選択して、[ENT] を押します。

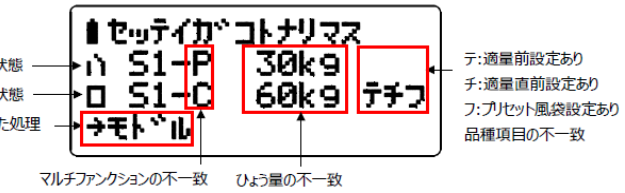
②はかりID０に登録された品種データの品名を表示します。
[OUT]を押すと、カーソル(→)が指している1品種をはかりに送信します。

③ [ENT] を押すと、品種番号1の登録されているデータの1画面目を表示します。

●ホーム画面の表示内容です。



●本機をはかりの横にセットした状態で、下記のような表示がでる場合は、はかりとロガーの設定が異なっていますので、設定を合わせてください。



●下記のホームページからパソコンと通信するのに必要なソフトをダウンロードしてください。
http://www.yamato-scale.co.jp/products/detail/id:314

チェッカ用品種登録

①ホーム画面で、[▲] を押すと品種登録画面になります。
[ENT] を押すと登録する品種番号の選択画面になります。

②品種番号1を登録するときは、[ENT] を押します。

③品名を登録するときは、[ENT] を押し、品名を入力してください。

④下限値を”１０ｋｇ”で登録する場合は、数字キーで“１０”と入力した後に、[ENT] を押します。

⑤上限値を”１１ｋｇ”で登録する場合は、数字キーで“１１”と入力した後に、[ENT] を押します。

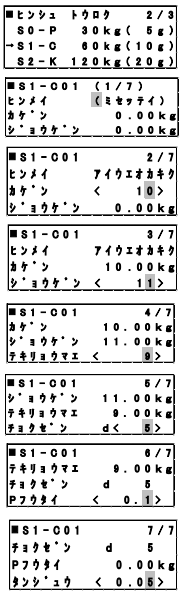
⑥適量前値を”９ｋｇ”で登録する場合は、数字キーで“９”と入力した後に、[ENT] を押します。

⑦適量直前の目量を”５目量”で登録する場合は、数字キーで“５”と入力した後に、[ENT] を押します。

⑧プリセット風袋値を”０．１ｋｇ”で登録する場合は、数字キーで “０．１”と入力した後に、[ENT] を押します。

⑨はかりの不足数量表示機能の作業単位の質量（単重）を”０．０５ｋｇ”に設定する場合は、数字キーで“０．０５”と 入力した後に、[ENT] を押します。

※YL100品種管理のソフトを使えば、パソコンで品種作成ができます。
YL100品種管理のソフトのインストールが必要です。



はかり設定

”ハカリ セッテイ"では、接続するはかりの仕様を設定します。
品種管理を行わない場合は、はかり設定は必要ありません。

①設定するはかりを選択して、[ENT] を押します。
S0からS9の間で選択します。
(S0は、ID0のはかりです。)

②S0を登録するときは、[ENT] を押します。

③登録するときは、[ENT] を押して、”1:ON”にカーソル(→)を移動 させて、[ENT] を押します。または、[1] を押します。

④“サンショウ”の設定は、他のはかりの品種データを参照するか、はかり毎に品種データを登録するかを設定します。
※OFFは、他のはかりの品種データを参照しない設定です。

⑤接続するはかりのひょう量を、選択し [ENT] を押してください。

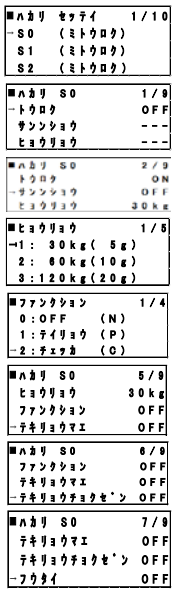
⑥接続するはかりのマルチファンクションのタイプを、選択し [ENT] を押してください。

⑦“テキリョウマエ”の設定は、品種毎に適量前値を使用するかどうかを設定します。

⑧“テキリョウチョクゼン”の設定は、品種毎に適量直前値を使用するかどうかを設定します。

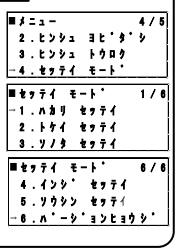
⑨“フウタイ”の設定は、品種毎に風袋値を使用するかどうかを設定します。

⑩“ソノタ ヒョウリョウ”の設定は、標準品以外のはかりを接続する場合に、ひょう量・目量を設定します。



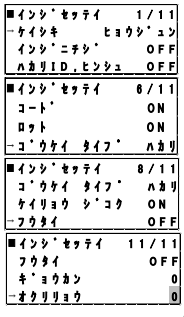
設定モード

設定モードでは、下記の設定ができます。
①はかり設定は、使用するはかりの仕様を設定します。
(但し、品種データを使用しない場合は、設定は不要です。)
②時計設定は、現在時刻（年月日時分秒）を、設定します。
③その他設定は、オートオフ時間、受信時のLEDの点灯時間、回数の扱い方を設定します。
④印字設定は、印字データの項目を設定します。
⑤送信設定は、パソコンに送信するデータの項目を設定します。
⑥バージョン表示は、ロガー・変換ボックス・はかりのソフトバージョンを表示します。



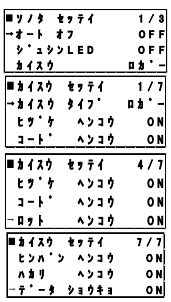
印字設定

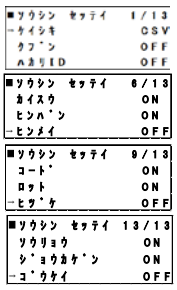
印字設定では、印字する項目を設定することができます。
①標準かチケットの印字形式が設定できます。
②印字日時の印字をさせるか設定できます。
③はかりID、品種、品名を印字させるか設定できます。
④コードを印字させるか設定します。
⑤ロットを印字させるか設定します。
⑥合計タイプがはかりの場合は、はかりから送られた合計をそのまま印字しますが、本機の場合は、設定した印字項目の内容が変わる毎に合計を取り直します。
⑦計量時刻を毎回印字させるか、タイトルだけに印字するか設定できます。
⑧風袋値を印字させるか設定します。
⑨総量を印字させるか設定します。
⑨各印字行の行間を設定します。



その他設定

その他設定では、下記の設定ができます。
①オートオフは、キー操作及びデータ受信が一定時間ない場合に電源をオフする機能で、オートオフ時間を設定します。
②受信LEDは、データ受信時にLEDを点灯させる時間を設定します。
③回数は、回数を1にリセットする条件を設定しますが、この機能を使うためには、回数タイプをロガーの設定し、はかりと1:1のリアルタイム送信で使用して頂く必要があります。
回数をリセットする条件の有効/無効を設定します。
(1)日付が変わるとリセットする。
(2)コードが変わるとリセットする。
(3)ロットが変わるとリセットする。
(4)品番が変わるとリセットする。
(5)はかりが変わるとリセットする。
(6)データ消去を行うとリセットする。



送信設定

送信設定では、パソコンに送信する項目を設定することができます。
①形式では、タイトル部を送信する設定ができます。
②マルチファンクションのタイプや合計の区分を送信させるか設定できます。
③はかりIDを送信させるか設定できます。
④計量回数を送信させるか設定します。
⑤品番を送信させるか設定します。
⑥品名を送信させるか設定します。
⑦コードを送信させるか設定します。
⑧ロットを送信させるか設定します。
⑨計量日付を送信させるか設定します。
⑩計量時刻を送信させるか設定します。
⑪総量を送信させるか設定します。
⑪設定された上下限値を送信させるか設定します。